

# 「栗山新時代」創生へ



栗山町長 佐々木 学

新年あけましておめでとうございます。栗山の皆様には、令和3年の輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えられることと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、一年の世相を表す漢字に「密」が選ばれたように、今なお全世界で猛威を振るっており、新型コロナウイルス感染症への対応に終始した一年であり、町民生活の安全・安心の確保を第一に、大きな影響を受けている事業者への経済対策、さらに、withコロナの時代を見据えた町内ICT環境の整備などに取り組んできたところであります。

一方で、基幹産業であります農業においては、水稲が2年連続の豊作、畑作物も総じて平年並みの作柄と、町民

皆様の願いが通じ、素晴らしい豊穰の秋を迎えることができました。

商工業においても、今般、角田地区第4工業団地への新たな企業進出が決まり、9月には、本町が誇る老舗の小林酒造が、フランスで開催の日本酒コンクールで最高賞(プラチナ賞)受賞の快挙を果たされるなど、町民、事業者の皆様のご努力の成果が、町に明るい光をもたらしてくれました。

また、町政におきましては、私が町長に就任以来、町政課題として掲げておりました病院整備について、「栗山赤十字病院の改築」を進める決断をいたしました。新病院の整備は、今後のまちづくりを左右する半世紀に一度のプロジェクトであります。今後も、まちづくり懇談会などの機会を通じ、町

民の皆様との十分な情報共有を図り、令和8年の新病院開院に向け、慎重かつ迅速に進めてまいります。  
新年の干支「辛丑」には、「新しい世代が生まれ、芽吹きを迎えようとする年」の意味があります。

今年も、コロナ禍への対応など町民生活を支える「守り」の施策とともに、魅力溢れる栗山新時代の芽を育む「攻め」の施策の両立が求められる重要な一年であると考えております。

今後とも時機を逸することなく、コロナ禍への必要な追加対策を講じつつ、新たな観光交流拠点整備を含めた都市再生整備計画事業の推進など、本町が持つ可能性・潜在力を引き出す施策を積極的に展開するとともに、「栗山高校の存続」「介護福祉学校の存続」などの町政課題につきましても、次の展開に繋がる一手を着実に講じながら、熟慮を重ね、まちの将来に責任ある結論を導き出してまいります。

「誰もが笑顔で、安心して暮らすまち」実現のため、今後も職員一丸となり、しっかりと前を向き、全力で町政に取り組みまいりますので、町民の皆様のお一層のご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、この「コロナ禍」が一日も早く終息しますことを切に願っていますとともに、新しい一年が町民の皆様にとりまして、明るく健やかな年でありますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。町議会を代表しまして、一言ご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、令和3年の輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えられることと、心からお慶び申し上げます。

日頃より、議会運営に対しまして温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、未知の新型コロナウイルスが世界的に広がり、今もなお北海道内では医療機関等でクラスターが発生するなど猛威を振るっており、10カ月余りの間、地域医療を支えてこられた医療関係者をはじめ福祉関係者の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

加えて町内飲食業、商業、農業を営まれる皆様におかれましては、新型コロナウイルスの影響により、不安な状況が続く中で新年を迎えるに至ったことを謹んでお見舞い申し上げます。

本町も「新しい生活様式」の取り組みがなされ、行動範囲も制限され、各種事業も縮小されるなどしており、一刻も早い終息を願うばかりです。

このような状況の中、町議会といたしましても議会機能が低下しないよう努めているところであり、この間、さらなる議会改革に向け議論も進めてまいりました。

地方創生臨時交付金を活用した議会ICT化推進事業で、タブレット端末機を導入し、オンライン会議の実施な

どを本年より運用を開始してまいります。

今回のような緊急時に、議会の機能が発揮できるよう通年議会の導入を検討しているところであります。併せて、議会報告会等の住民参加の手法に工夫を加え、町民との対話の機会を止めることなく、町民の皆様の声や町政に反映できるよう進めてまいりたいと考えております。

また、議会議員の報酬と定数及びびなり手不足問題について特別委員会を設置し調査を行っておりますが、昨年は18人の議会モニターを交えて、幾度にもわたり意見交換を行っております。さらに、栗山赤十字病院の改築に関わる病院整備方針案の策定に関する調査では、50年に一度の大事業が多く、町民にとって望ましいものになるよう慎重に審議を進めているところであります。

いずれにいたしましても、町民の皆様にとつて、安心して暮らすことのできるまちづくりの政策を、議会基本条例の趣旨を踏まえ、議会改革の進捗と機能強化に努め、町民皆様の信託、また時代の要請に応える町議会を目指してまいります。

終わりに、新型コロナウイルスの1日も早い終息を願ひ、この1年、町民皆様とともにこの危機を乗り越え、明るい年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

栗山町議会議員長

鶴川 和彦



# 議会改革の進化と時代に

# 忘える町議会を!

# 謹賀新年

本年も  
よろしくお祈りします

町長 佐々木 学  
副町長 三浦 匠

ほか職員一同

議会  
議長 鶴川 和彦  
副議長 藤本 光行  
議員 大西 勝博  
友成 克司  
佐藤 則男  
土井 道子  
佐藤 清己  
千葉 清己  
三田 源幸  
齊藤 義崇  
置田 武司  
鈴木 千逸

農業委員会  
会長 吉田 寿栄  
同代理 鳥村 正行

監査委員  
谷田 進太郎  
大西 勝博

教育委員会  
委員長 南條 宏  
同代理 井上 博幸

選挙管理委員会  
委員長 鈴木 英雄  
同代理 古林 義弘

公平委員会  
委員 坂口 由紀子  
中川 昇  
越前谷 徹

国民健康保険運営協議会  
会長 北 輝一  
同代理 橘 一也

都市計画審議会  
会長 早坂 義幸  
同代理 三田 源幸

社会教育委員  
委員長 藤井 吉美  
副委員長 田村 賢治  
副委員長 原田 優司

スポーツ推進委員  
委員長 岡山 典弘  
副委員長 永池 英彦

